

令和6年度大垣市市民活動助成事業

自然から学ぶ

最終回

ものづくり・まちづくりワークショップ

テレビで引っ張りだこ
長島 孝行 先生



～“ほんとうの豊さ”とは？ 大垣のまちづくりをみんなで考える～

SDGsのヒントは、自然の中にあり？！

「蚊が脳梗塞を治す？」、「外来種のカブトエビが無農薬米を手助けする？」、「新幹線の自動ドアは、みつばちの巣と同じ構造？」自然界には、未来へのヒントがたくさん隠されていることをこれまで2回のセミナーで学びました。

最終回は、これら自然に学ぶものづくりをデザインし、さまざまな社会課題を解決していくヒントを学びましょう。

“ほんとうの豊かさ”って、何だろう？ をテーマとして、わたしたちが大好きな大垣の未来のまちづくりを、みんなでさまざまなアイデアを出し合い、未来のものづくりの手法や未来のまちづくりと真剣に向きあい、いかに健やかに生きるかを考えましょう。

2024年 **12/7** **土** 13:00～15:40

会場 大垣市 スイトピアセンター
学習館2階スイトピアホール
募集対象 小学生4年生以上、大人まで
定員 先着順150名（応募期限11月30日〆切）
参加費 大人 2,000円（大学生以下は無料）

応募方法

こちらのQRコードに
アクセスして、
応募フォームに
入力してください





Timetable [タイムテーブル]

13:00~13:10 主宰者 挨拶

13:10~14:25 長島孝行先生:基調講演「昆虫テクノロジー、産業利用への可能性」
テレビで引っ張りだこの長島孝行先生による昆虫などの
生き物から学ぶものづくりやまちづくりについての講義です。

14:30~15:30 パネルディスカッション “ほんとうの豊さ”とは?大垣のまちづくりをみんなで考える

長島先生の基調講演を受け、民間企業と認定農業者を交え、パネルセッションを展開します。
気候変動対策、自然資本の重要性などが問われ、地球全体の危機的信号が出ている中で、今、地域で果敢にチャレンジしていることをご紹介します。
みんなで未来の大垣のまちづくりを考える機会から一人ひとりの行動が大切であることを問いかけます。

ファシリテーター	田中 信康 氏	(株式会社Sinc代表取締役社長CEO/サンメッセ株式会社取締役専務執行役員)
パネリスト	長島 孝行 氏	(ヤマザキ動物看護大学動物人間関係学科教授 生物機能開発学研究室/ 前東京農業大学農学部教授)/ニューシルクロードプロジェクト代表)
	高橋 卓哉 氏	(株式会社タックジャパン 専務取締役)
	磯貝 行巨 氏	(株式会社タックジャパン 事業開発室長)
	大嶽 喜久 氏	(大嶽ファーム代表)
	こども代表	

15:30~15:35 会場交えて意見交換会(質問含む)

15:35~15:40 まとめ

Panelists [パネリスト]



長島 孝行 氏

<略歴>

「ムシのような小さな生き物の機能性や構造を研究し、社会実装するインセクト・テクノロジー」を提唱(2000年)ヤマザキ動物看護大学動物人間関係学科教授。生物機能開発学研究室(前東京農業大学農学部教授)ニューシルクロードプロジェクト代表。NHK探検バクモン、NHKスペシャル「人類を救う昆虫テクノロジー」、NHK国際放送「Bug Technology」、NHK国際放送「Japanology Plus」、TBS「この差ってなんですか?」、フジテレビ「ホンマでっか!TV」、BSテレビ東京「ファッション通信」、NHKラジオ深夜便など、メディア出演多数。



田中 信康 氏
(ファシリテーター)

<略歴>

株式会社Sinc 代表取締役社長CEO/サンメッセ株式会社取締役専務執行役員。大手証券にて大手企業向け財務・IRコンサルタント、M&Aアドバイザー、コミュニケーション支援業務の責任者として従事。数多くの経営層との対談、ESG・SDGsコンサルティングを中心に企業経営のコンサルティング業務に携わる。世界10ヶ国におけるグローバルコミュニティである、サステナブル・ブランド・ジャパンのESGプロデューサーに就任し、SDGsを共通言語に企業と地方自治体を中心に、産官学を基軸としたマルチステークホルダーとの地方創生・地域連携をプロデュースし、持続可能な社会形成のため『Regeneration』をキーワードに担う。一般社団法人長良川リトリート共同代表CEO、一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協会岐阜支部長歴任。



高橋 卓哉 氏

<略歴>

株式会社タックジャパン 専務取締役。大垣市出身。大学卒業後、生産管理ソフトウェアメーカーの営業職に従事。2000年タックジャパン入社し、2016年より現職。



磯貝 行巨 氏

<略歴>

株式会社タックジャパン 事業開発室長。岐阜市出身。大学卒業後、機械部品メーカーを経て、広告会社で約20年営業職に従事。大学・不動産・自動車ディーラー等のクライアントを担当。2017年より営業部長としてマネジメント業務にも携わる。2020年タックジャパン入社し、肥料営業を経て2023年7月より現職。



大嶽 喜久 氏

<略歴>

大嶽ファーム代表。瑞穂市から名古屋の電力会社に通っていた子ども達の小学校入学に合わせて故郷上石津に20年前にUターン。名古屋まで通いながら自然に近いお米作りを始め、定年と共に認定農業者として自然農とスマート農業に取り組む。

